

草津市立
老上中学校
学校だより
R1(2019).10.30



申 考 動

【校訓】

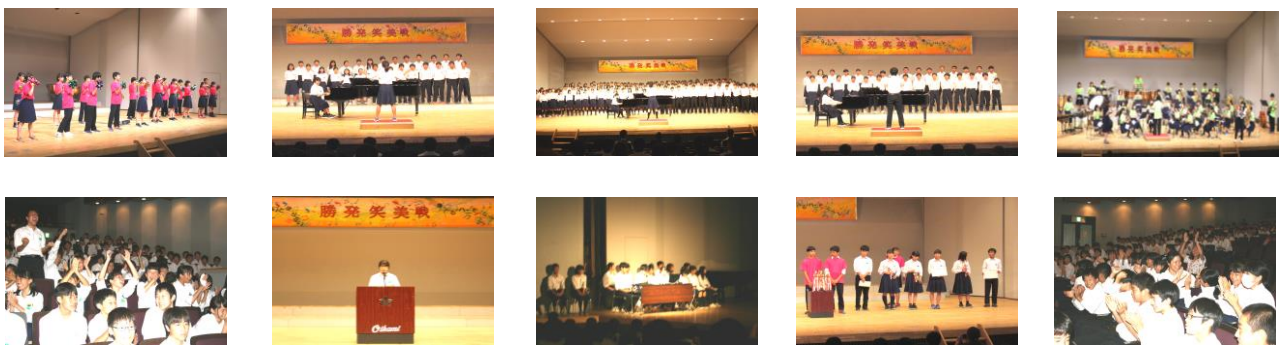


老中魂全開の老中祭（体育の日・文化の日）！

本年度の老中祭全体のスローガンは、「勝発笑美戦（かっばえびせん）」でした。9月20日（金）の「体育の日」では、「やめられない とまらない きらめく汗！」というサブスローガンのもと、一人ひとりが練習の成果を存分に発揮し、仲間とともに力と技、心のバトンをひとつにして跳躍し、そして駆け抜けました。（当日の様子は、学校だより前号に掲載しています。）

10月4日（金）の「文化の日」当日は、登校後、クラスごとに徒歩でクレアホールに向かいました。「やめられない とまらない 奏でるハーモニー」というサブスローガンのもと、午前の生徒会や吹奏楽部の発表では、それぞれがこれまでに培ってきた力を最大限に発揮することで参加者全員が盛り上がりを見せ、会場全体が一体感あふれる雰囲気になりました。また、午後の青少年の主張や沖縄平和学習の発表では、発表者が堂々とそれぞれの取組の成果を披露することができました。そして合唱コンクールの部では、各学年、各クラスとも一人ひとりが緊張した面持ちでステージに立っていましたが、静寂の中で指揮者の手の振りやピアノの音に合わせていざ歌唱に臨むと、それぞれの思いを歌声にのせてしっかりと紡ぎ、大合唱となってホール中に響き渡っていました。きっと合唱のすばらしさを体感するとともに、達成感や充実感を味わうことができたことでしょう。2学期が始まって一ヶ月間に渡る老中祭の取組でしたが、そのしめくりにふさわしい「文化の日」になりました。

老中祭全体を通して、保護者の皆様や地域の皆様には、生徒の活動に温かいエールを送っていただき、ありがとうございました。また、「体育の日」での生徒との綱引きや、「文化の日」での参観チケットの抽選、保護者席の入れ替え制にご協力いただきましたこと、重ねてお礼申し上げます。老中祭を円滑に実施することができました。



◇老中魂の基盤は「協力」すること！◇

毎年、老中祭の時期になると皆さんに伝えていることですが、“協力”という文字を細かくひも解いてみてください。“協力”の“協”は「3つの力を+（たす）」と読み取ることができるのではないのでしょうか。この3つの力を各学年の力と考えて、1年生の力と2年生の力、そして3年生の力をたして[力+力+力]ひとつにすることで“協”となり、そして“協力”の“力”すなわち老上中学校全体の大きな“力”になると感じ取ることができると思います。老中祭を通して結集した老中魂の基盤は、まさに「協力」のたまものであったと実感することができました。このすばらしい伝統をこれからも大切にしていってほしいと強く願っています。